

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ	http://www.tr.mufg.jp/
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nozawa-kobe.co.jp 不測の事態により電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている 当社株式に関する配当金振込指定、単元未満 株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する 配当金振込指定、単元未満株式買取請求、 住所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

特別口座 について

特別口座では、株式のご売却はできません。
証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、
株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも
当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。

◆ この報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。 株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



この報告書は、環境に配慮
した植物油インキを使って
印刷しています。



株主のみなさまへ

第157期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



代表取締役社長 野澤 俊也

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第157期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

平成28年12月

当第2四半期の取り組みと成果

■ 第2四半期6期連続の増収、営業利益は過去最高

建築材料業界におきましては、企業収益が頭打ちのなか設備投資は力強さを欠き、慢性的な技能工不足や建設費高止まりも懸念されるなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「やすらぎと安心の創造」の経営理念のもと、環境負荷低減と施工現場省力化を実現し、豊かな居住空間を創造する商品の拡充を図ってまいりました。

販売部門では、優れた耐候性と均一で美しい仕上がりを持ちながら現場工期を短縮する「工場塗装品」、リップ形状パネルやエンボス系パネルなど多種多様なデザインで、工場塗装品との組み合わせでさらに意匠性が高まる「デザインパネル」、深刻な技能工不足による工期遅延問題を解消する「アスロックLS工法」並びに「工場プレ加工」の販売数量を伸ばしました。

生産部門では、NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動により、各工程の生産性を高め、品質の向上、コスト削減に努めました。

管理部門では、システム構築による業務効率化、有利子負債の圧縮により財務体質の改善に取り組みました。

海外事業では、一般建築向け「アスロック」が先進的な外壁材として大手建築企業本社ビルに採用されるなど、中国国内におけるPR効果が着実に現れ、販売数量は堅調に推移しました。

マインケミカル事業では、ミネラル肥料「マインマグ」の施用効果をユーザー様に高く評価いただき、販売数量を伸ばしております。また、「マインマグ」の製造拠点であるフラノ事業所では、

3,000㎡の遊休グラウンドを整備し花畑をつくり、見学者用舗道を整備するなど、富良野市観光のお手伝いを通じて地域社会活性化にも取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は112億85百万円(前年同期比6.7%増加)となりました。利益面につきましては、営業利益は15億41百万円(前年同期比2.7%増加)、経常利益は14億65百万円(前年同期比3.1%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億76百万円(前年同期比3.8%減少)となりました。

通期の見通し

■ 創業120周年に向け、更なる増収増益を目指します

当社グループは来年、創業120周年を迎えます。体質強化、収益拡大、飛躍成長の各戦略の確実な実行により強固な経営基盤を構築し、未来に向けて大きく発展する企業を目指してまいります。

販売部門では、「アスロックLS工法」、「グリッドデザインシリーズ」、「工場塗装品」など、現場省力化・工期短縮を実現し現場のコストダウンに貢献できる商品群の販売に注力し、受注数量を伸ばしてまいります。さらに、市場環境の変化と多様化する顧客ニーズや社会課題に対応し、求められるニーズを形に変えて、安全・安心・快適を実現する商品構成の充実を図ってまいります。

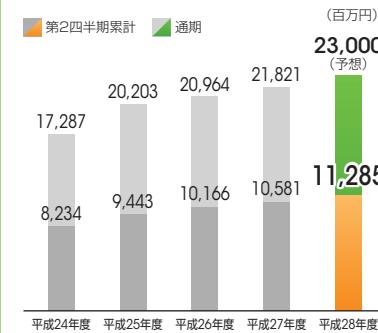
なお、当連結会計年度につきましては、売上高230億円、営業利益33億円、経常利益32億10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益21億10百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

11,285 百万円

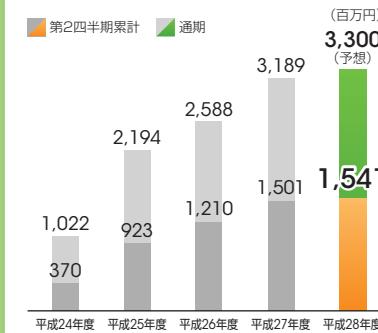
前年同期比 6.7% 増 ↑



営業利益

1,541 百万円

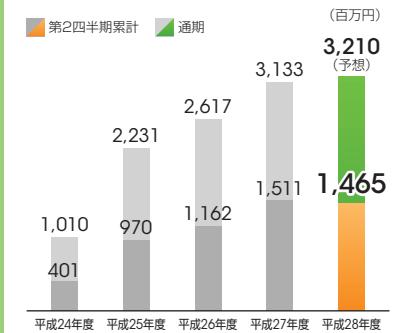
前年同期比 2.7% 増 ↑



経常利益

1,465 百万円

前年同期比 3.1% 減 ↓



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

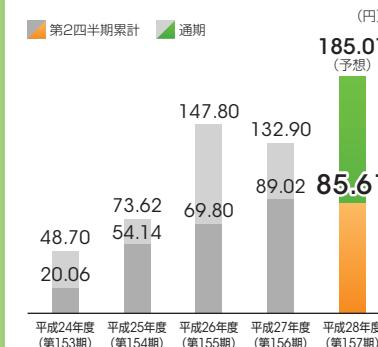
976 百万円

前年同期比 3.8% 減 ↓



1株当たり四半期(当期)純利益

85.61 円



売上高経常利益率(第2四半期累計)

13.0%



(注) 平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行いました。第153期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

「アスロック」 「アルカス」工場塗装品 採用・出荷拡大中

1986年、カラーフロンを発売以来、その時代のニーズを捉えた「アスロック工場塗装品」を提供してまいりました。
2014年**業界初**となる「カラーセラン」「リブW(ダブル)コート」を開発、商品の拡充を図りました。
今後もお客様のご要望に応じた商品開発を行ってまいります。

工場塗装品ラインナップ

カラーフロン

親水性フッ素樹脂塗料
最先端の超耐候性塗料

カラーフロンメタリック

親水性フッ素樹脂塗料
高耐候性能で10年保証

ルミセラコート

無機系水性光触媒塗料
雨で汚れを洗い落とす

カラーリードクール

ポリウレタン樹脂高日射反射率塗料
夏の節電に確かな効果

ニューカラーリード

ポリウレタン樹脂塗料
リーズナブルに工場塗装の美観を

カラーセラン

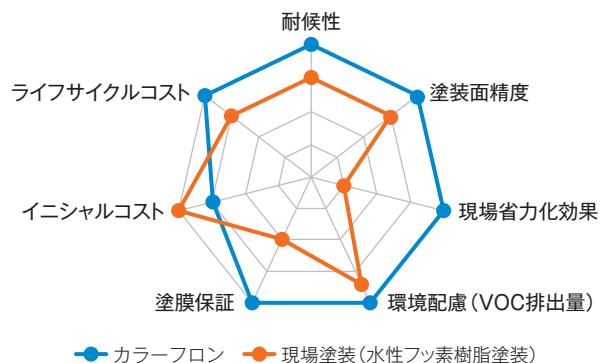
有機無機系変成ポリシロキサン樹脂塗料
最先端の超耐候性塗料

リブW(ダブル)コート

有機無機系変成ポリシロキサン樹脂塗料
リブの凹凸を利用した2色デザイン

現場塗装では得られないカラーフロンシリーズのメリット

- 1 安心の保証をご提供します。
- 2 塗替え時期を延ばせるため、ライフサイクルコストに寄与します。
- 3 強溶剤・焼付硬化の製法により、優れた耐候性を実現します。
- 4 精巧な塗装ロボットで塗装するため、美しく均一な仕上がりとなります。
- 5 現場工期を短縮します。
- 6 VOCを大気中に排出しません。



■ 博多グリーンホテル

採用商品 アスロック600(カラーフロン)
プライムライン



■ JR森ノ宮駅

採用商品 ランディルA(カラーフロン)仕上げ
アスロックグリーンウォールビルトインタイプ



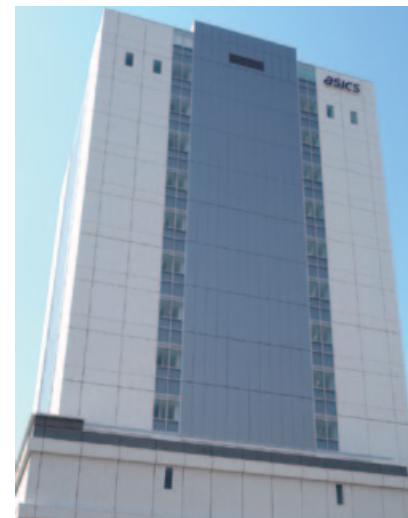
■ 九州新幹線 新玉名駅

採用商品 アスロック600(ルミセラコート)



■ 横浜マリントワー

採用商品 アスロック600(ニューカラーリード)
PHOTO 太田拓実写真事務所



■ アシックスジャパン本社ビル

採用商品 アルカス(カラーフロンメタリック)



■ 沖縄セルラー本社ビル

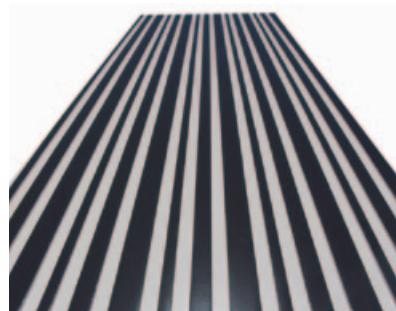
採用商品 アルカス(カラーフロンメタリック)

ノザワの新技术

『アスロックリブWコート』 デザインパネルのリブ凹凸を2色で塗り分けた業界初の工場塗装品

平成28年6月発売

■リブWコート デザインパネル Lシリーズ



<特徴>

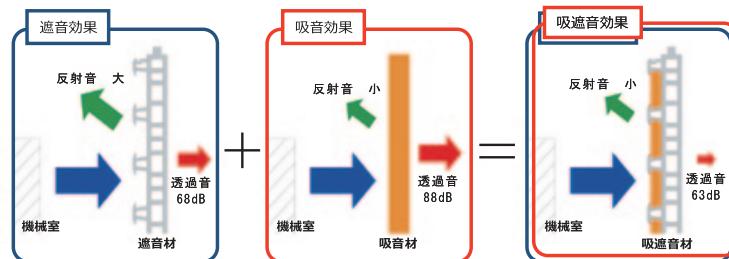
- ▶アスロックデザインパネルのシャープさと2色塗装のコントラストがスタイリッシュな壁面を構成します。
- ▶塗料は耐候性に優れた有機ハイブリッド型の無機塗料「カラーセラ」を採用しています。
- ▶塗膜の10年保証(はがれ・割れ・膨れ)をご提供します。
- ▶単色塗装品との併用も可能です。

『アスロックタブ吸遮音ビルトインタイプ』

平成28年9月発売

<特徴>

- ▶騒音が問題となる屋上機械室周りの目隠し壁においても安全にご利用いただけます。
- ▶高意匠を実現できます。
- ▶遮音性能プラス吸音性能のダブル効果で騒音を低減。
- ▶ビルトイン機能による省力化とコストダウン。



TOPICS

TOPICS 1 創業120周年 未来に向けた新技术開発

当社は、主力商品である押出成形セメント板アスロックの耐久性を飛躍的に向上させた「アスロックNeo」の開発に成功し、平成28年11月4日に発表しました。
(平成29年4月発売予定)

アスロック発売46年振りの全面リニューアル! ネオ
高耐久性 押出成形セメント板『アスロック Neo』

高層建築市場への本格参入! ハイスペック
高層専用工法『アスロック Neo-HS』

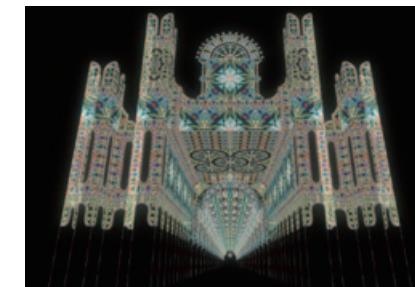
<防水構造に関する特許出願済み、留付構造に関する特許取得済み(特許第4481886号)>

TOPICS 2 15番館便り

平成28年9月16日、熊本城災害復旧支援金200万円を熊本城総合事務所に持参致しました。阪神・淡路大震災により、当社所有の重要文化財「旧神戸居留地十五番館」が全壊しましたが、3年後に再建、多くの方々に勇気と希望を与えることができました。熊本城の一刻も早い復旧を心より願っております。また、阪神・淡路大震災の犠牲者の鎮魂と復興への願いをこめて、今年も神戸ルミナリエに協賛しています。



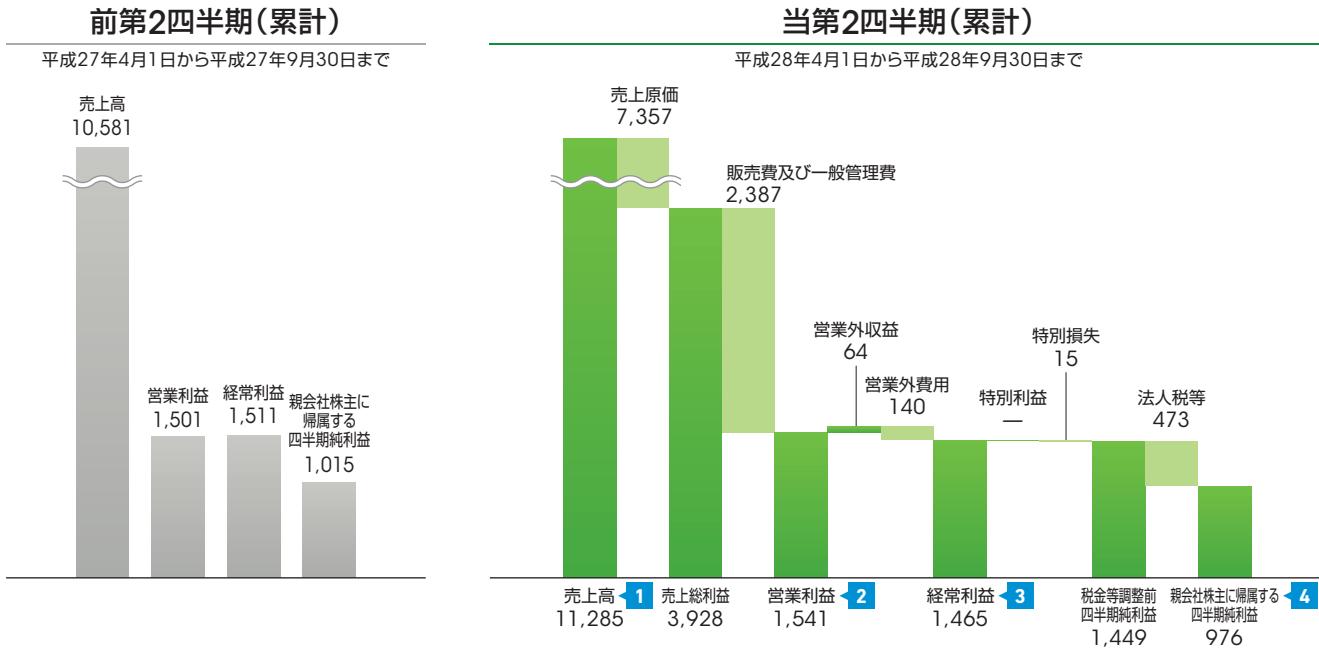
熊本城総合事務所



2016年作品テーマ「光の叙情詩」

©Kobe Luminarie O.C.

◆ 四半期連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

1 売上高の状況

品種別売上高につきましては、主力の押出成形セメント板「アスロック」は、75億18百万円(前年同期比7.5%増加)、住宅用軽量外壁材は10億30百万円(前年同期比14.5%減少)となり、この結果、押出成形セメント製品関連の売上高は、85億48百万円(前年同期比4.3%増加)となりました。スレート関連は、4億15百万円(前年同期比11.1%減少)となりましたが、耐火被覆等は8億54百万円(前年同期比22.7%増加)となったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、112億85百万円(前年同期比6.7%増加)となりました。

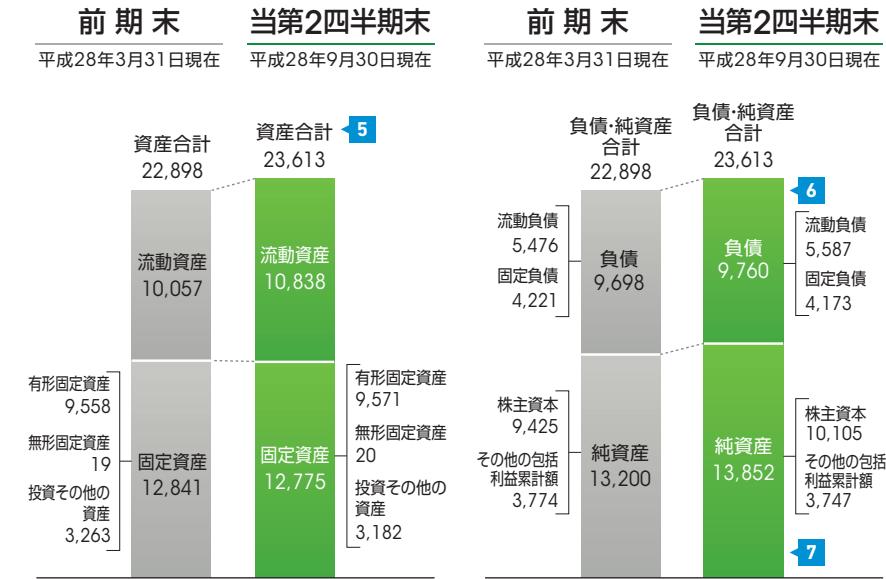
2 3 営業利益・経常利益の状況

主力である押出成形セメント製品が伸長したことに加え、生産性の向上及び製造原価低減並びに経費削減に努めた結果、営業利益は、15億41百万円(前年同期比2.7%増加)となりましたが、為替差損を計上したこと等により、経常利益は、14億65百万円(前年同期比3.1%減少)となりました。

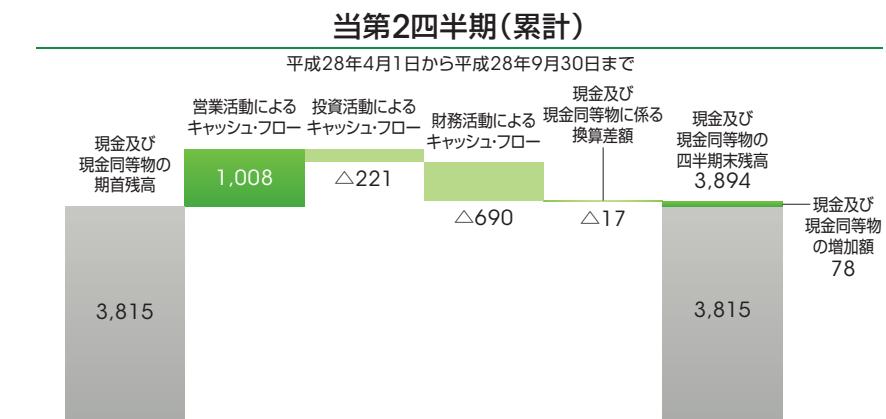
4 親会社株主に帰属する四半期純利益の状況

固定資産除却損、法人税等の計上により、9億76百万円(前年同期比3.8%減少)となりました。

◆ 四半期連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



◆ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

5 資産の状況

「投資有価証券」が73百万円減少しましたが、「受取手形及び売掛金」が7億7百万円増加したこと等により、「総資産」は、前連結会計年度末に比べ、7億15百万円増加の236億13百万円となりました。

6 負債の状況

「短期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)」が3億82百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が増加したこと等から「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ、62百万円増加の97億60百万円となりました。

7 純資産の状況

「利益剰余金」が増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ6億52百万円増加の138億52百万円となりました。

8 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億8百万円の増加となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、2億21百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長、短期借入金の返済や配当金の支払などにより6億90百万円の減少となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、38億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加となりました。

会社概要

社名	株式会社ノザワ NOZAWA CORPORATION
創業	明治30年8月17日
設立	大正2年9月28日
資本金	24億4,900万円
従業員数	320名(連結)
子会社	株式会社ノザワ商事 株式会社ノザワトレーディング 野澤貿易(上海)有限公司 野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司

ネットワーク

● 本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL 078-333-4111 (代)

支店・営業所

札幌支店	札幌市中央区大通西1-14-2 (桂和大通ビル50)
仙台支店	仙台市青葉区一番町2-8-15 (太陽生命仙台ビル)
東京支店	東京都中央区新富1-18-1 (住友不動産京橋ビル)
名古屋支店	名古屋市中区錦2-4-15 (ORE錦2丁目ビル)
北陸営業所	金沢市本町1-5-1 (リファール)
関西支店	神戸市中央区浪花町15番地
広島支店	広島市中区小町3-25 (三共広島ビル)
松山営業所	松山市大手町2-9-4 (石丸ビル)
九州支店	福岡市博多区博多駅前1-4-4 (JPR博多ビル)



役員

代表取締役社長	野澤俊也
専務取締役	佐々木三七司
専務取締役	三原伸夫
専務取締役	田淵義章
専務取締役	坂本茂紀
取締役	三浦後竜
取締役	肥松村正
取締役	西岡誠良
社外取締役	羽尾賀一
社外取締役	犬賀永田
社外監査役	松吉真
社外監査役	檀上秀逸

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	24,150,000株
株主数	1,940名

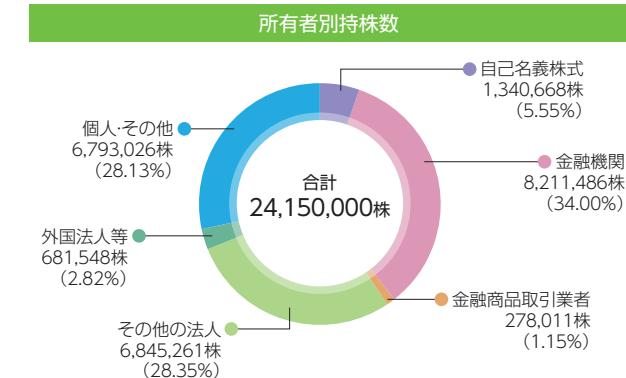
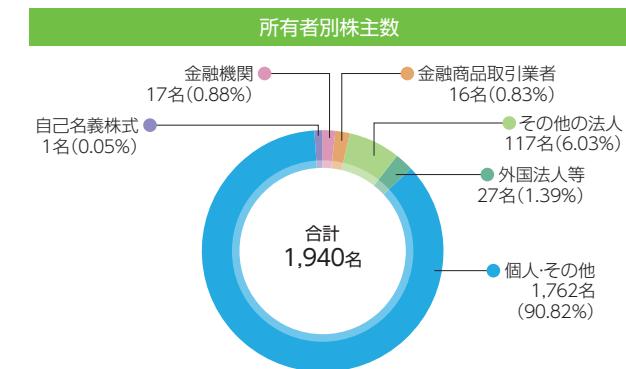
※10月1日の株式併合に伴い発行可能株式総数は、30,000,000株に、発行済株式の総数は、12,075,000株となりました。

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,440	6.31
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,225	5.37
株式会社三井住友銀行	1,135	4.97
神栄株式会社	973	4.26
日本生命保険相互会社	872	3.82
CBC株式会社	603	2.64
日工株式会社	568	2.49
東京海上日動火災保険株式会社	554	2.43
ノザワ従業員持株会	531	2.32
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	525	2.30
株式会社トクヤマ	525	2.30

(注) 持株比率は自己株式(1,340,668株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株式併合及び単元株式数の変更について

当社は、平成28年10月1日をもって普通株式2株を1株とする株式併合及び、単元株式数を1,000株から100株とする変更を行いました。(平成28年6月29日開催の第156回定時株主総会決議)。株主の皆様には新株式数を記載した「株式併合手続き完了のお知らせ」を10月24日に発送させていただいております。なお、株式併合の結果、1株未満の端数株式が生じた株主の皆様には、これを一括処分し、その処分代金を端数の割合に応じてお支払い申し上げます。